

実盛

かぶさるゝかぶさるゝ

第三回観ノ会公演

友枝雄人

令和2年
4/25
(土)

午後1時間演(午後12時開演)
セルリアンタワー能楽堂

実盛

さぶらふさだめ

第三回観ノ会公演

友枝雄人

令和2年
4/25
(土)

午後1時開演(午後12時開場)
セルリアンタワー能楽堂
16時半頃終了

【配役】

前シテ／老人

後シテ／実盛の霊

友枝雄人

ワキ／遊行上人

大日方寛

アイ／篠原の里人

高澤祐介

【囃子】

笛／一噌隆之

小鼓／成田達志

大鼓／谷口正壽

太鼓／林雄一郎

【地謡】

香川靖嗣

大村定

狩野了一

金子敬一郎

内田成信

佐々木多門

友枝真也

佐藤陽

【後見】

中村邦生

佐藤寛泰

【あらすじ】

作者 世阿弥

季節 仲冬(陰暦11月)

所 加賀国篠原

加賀国篠原で遊行上人が説法をしていた。多くの聴衆が集まっていたが、人々は上人が説法の前後に独り言をつぶやくのを不思議に思っていた。実は毎日のように老人がやって来て上人と会話をしていたのだが、その姿は上人以外には見えないのであった。ある

日、上人が老人に名を名乗るように言うと、老人は逡巡した末に、かつてこの地の合戦で木曾義仲の軍に討たれた平家方の武将、斎藤別当実盛の幽霊であると明かし、池のほとりに消えていった。その夜、上人の前に錦の直垂、黄金の太刀飾りを身にまとった実盛の幽霊が現れ、最期の戦に臨んで髪を黒く染めて出陣したこと、手塚太郎との死闘の模様を語り、後世の弔いを頼みつつ消えていった。

前売開始
2020年2月3日(月)

・料金(税込)
SS席 12,000円
S席 10,000円
A席 8,000円
B席 6,000円
栈敷席 4,000円

料亭金田中席 28,000円
(お食事と観能/詳細はお問い合わせください)

・チケット申し込み:
友枝雄人事務局 03-5950-4543
「友枝家の能」HP お問い合わせ
<https://tomoeda-kai.com>

セルリアンタワー
能楽堂

〒150-8512
東京都渋谷区桜丘町26番1号 B2F
TEL: 03-3477-6412 FAX: 03-3477-0190

観ノ座 [13:00~14:00]

演能の前に、能「実盛」の魅力、見どころを多彩な角度から考察します

実盛と時宗

遊行上人とは時宗集団の指導者に対する敬称。特に開祖・一遍やその弟子他阿を指すことが多い。世阿弥がなぜ実盛の苦悩を癒す相手として時宗の僧を登場させたのか、中世の人々の心のありように迫る。

「さぶらふ」人々

実盛は当初、源氏方の武将であった。その後、平家の武将となるが、彼の人生は源氏と平家の重要な人々の運命に深く関わるものだった。彼らにとって「さぶらふ」とは何か。

【観ノ会冊子】

「観-III」を
当日無料で配布いたします。

※「観-I」、「観-II」をご希望の方には各1冊500円にてお分けいたします。

観-I

「普遍なものを観る」桐谷美香
「能楽師・友枝雄人」渡辺保
「∞(無限大)を抱えた静止-能の身体表現」
山中玲子
「音が語を語る」成田達志
「王の夢」中村光江

観-II

「[和]に取り込まれた[漢]」山田尚子
「能の花」桐谷美香
「能と花籠」斎藤正光
「素顔という面から始まる」友枝雄人
「ワキ方の本分-師のお言葉から」大日方寛